

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	53	事業名	港まつり開催負担金		事業の性質別	裁量的経費	区分	
予算事項名	大事項	観光行事関係経費			中事項	港まつり開催負担金		
事業開始年度	昭和 10 年度	根拠法令等	なし	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等()				
部課名								観光部観光推進課
電話番号								21-3396

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p>【目的】 昭和10年から開催している、本市の夏の最大のイベントである「函館港まつり」に市は実行委員として参画しており、「港まつり」の適切な開催を実施するため、その事業費の一部を負担している。</p> <p>【必要性】 「港まつり」は昭和9年に発生した函館大火により意気消沈した市民を元気づけるため、昭和10年から開始した祭りで、現在では、本市を代表するイベントに成長しており、市民のみならず夏の観光資源としても重要な素材となっている。しかし、祭りの実施に当たり、協賛金や広告収入など自助努力はしているが、祭り運営には相当な費用が掛かるため、本市からの負担金は必要である。</p>
内容	<p>例年、8月1日～5日の日程で開催しており、1日は道新花火大会、2日、3日はワッショイはこだてパレード、4日はパレードの予備日、5日は歩行者天国となっており、ほか協賛事業に助成金を出している。</p>

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		24,500	24,000	24,000	48,000	23,900	0
特定財源	国・道						
	市債			24,000	24,000	23,900	
	その他						
一般財源		24,500	24,000		24,000		
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっても0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 0.40 3,003	人工 0.40 2,887	人工 0.40 2,916	人工 0.40 2,916	人工 0.40 3,005	人工 0.43 3,230
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	3,003	2,887	2,916	2,916	3,005	3,230
総事業費計(A+B)		27,503	26,887	26,916	50,916	26,905	3,230

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
道新花火大会の来場者数	人	70,000	70,000	70,000	
パレード参加者数	人	21,900	21,000	20,500	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	パレード参加者や観覧者の増加
------	----------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	年ごとにパレードの目玉となる参加団体の誘致など、定番と新しいものを組み合わせ、楽しんでもらえる工夫をし、参加者や観覧者の増加を図っている。
--------	---

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	コスト・負担	コストの節減度	節減できている
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当		将来コスト増減見込み	現在と変わらない
成果・有効性	成果の達成状況	達成している		受益者負担の適正度	評価対象外
	事業目的実現のための手段	現手段が最適	外部委託の可能性	しづらい性質の事業	イベントの性質上、現行の実行委員会での実施が望ましいものとする。
			実施方法の効率性	図られている(今後も更に改善可能)	
評価結果から明らかになった課題事項など		特になし			

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) イベントのマンネリ化を避け、観光客や市民に喜ばれる内容の検討が必要であるとする。
	現行どおり	(経費について) 協賛金や広告料など自助努力による資金の確保は行っているが、近年の景気の動向を考えると、市からの負担金は欠かせないものとする。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
----------------------------	--